

永遠

真理

不朽

東洋書院
三十五年
六月
廿二日

目 次

巻頭の辞	……………	学校長 北辻 要	1
思い出すままに	……………	前校長 菊池通夫	2
創立25周年を祝って	……………	P T A会長 豊田静彦	3
写真にみる25年	……………		4
語り聞く25年	……………		44
キャンプ25年	……………		85
資料にみる25年	……………		95
P T A・みどり会・緑友会	……………		119



巻頭の辞

昭和30年、本校が大阪城南、白鷺の野に呱呱の声を挙げてより、25年の歳月が流れました。今年記念式典を挙行し、細やかな青史編纂により、1/4世紀を顧みて、将来の飛躍を期するにあたり、学校長として、巻頭に拙文を草する機会に恵まれ、身に余る光栄と考える次第でございます。

昭和27年、東住吉高等学校建設委員会が設置せられ、地域住民の熱烈なる要望と期待を担って、3年後の昭和30年4月、未だ敗戦の名残を留めた困難な状況下に、「自主創造」の大旗を掲げ、本誌の記述に見られる如く、特色ある校風をもって、開校致しました。爾来25年、学園紛争時も、関係者の良識に依り比較的平静に推移し、我が国経済の高度成長と共に、成長の一途を辿って参りました。

当時田園の真只中であつた環境も、文字通り都市の中樞と化し、今や、勉学に励む在校生千六百有余名、卒業し各方面で活躍する同窓生の数、一万人に垂んとし、地域社会の声望も年を追って高まり、懸案の一部老朽施設の改修も、中学卒業生の急増対策の一環とし

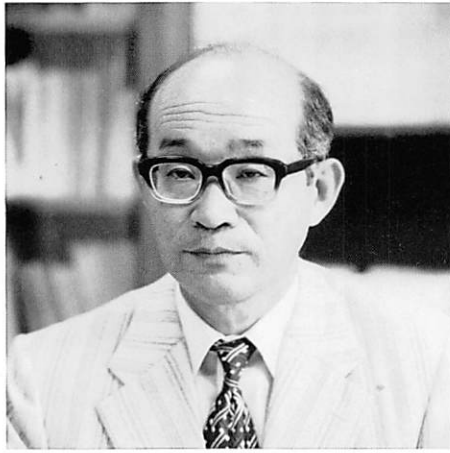
学校長 北 辻 要

て、着々と進捗し、数年を出でずして面目が一新される事と存じます。

本校今日の輝かしい姿は、歴代校長を初め教職員・生徒の不撓不屈の努力と、大阪府当局はもとより、PTA・同窓会・地域住民等の無限の御後援に負う処、大であり、此等各方面の、創立以来の御甚力と御支援に対し深甚の敬意と感謝の念を捧呈致します。

現時点の本校を人生に例えれば、漸く青年期を脱し、名実共に充実した壮年期に差し掛かっていると云う事ができると存じます。今こそ、創立以来の輝かしい歴史に学ぶと共に、徒らに懐古趣味に陥る事なく、先人の偉業を継承発展させ、本誌に記載された校章・校歌に象徴される開校の理想実現と、より格調の高い校風樹立に邁進する事をお誓いすると共に、本校有縁の方々の、旧に倍する御支援、御鞭撻をお願いし、巻頭の言葉と致します。

終りに、多忙の中、本誌の編集に当たられた委員各位並びに御協力を賜った方々に、満腔の謝意を捧げ筆を擱きます。



思い出すまに

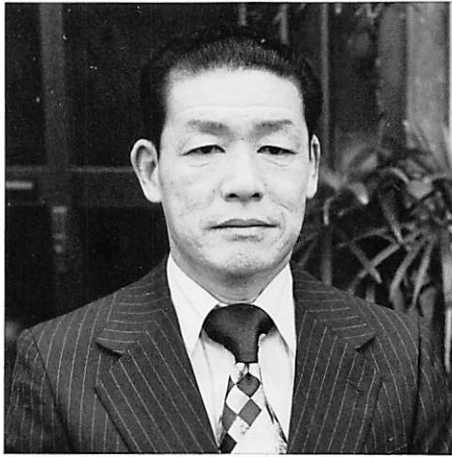
前校長 菊池 通夫

昭和30年に本校は創立されましたので、本年が25周年にあたります。その間、多数の卒業生を社会に送り出し、それぞれに立派な社会人として社会に貢献しておられます。府立高等学校130校の中でも、有数の学校に数えられるようになりました事は、誠によろこばしいことと存じます。

私は去る3月末日に30数年に及ぶ府立高校生活を終えましたが、大別して三国丘高校(交流前の堺市女を含む)10年余、大手前高校11年、東淀川高校5年、東住吉高校6年の勤務でありました。私にとっては、30才代の三国丘、40才代の大手前ということでもあり、それぞれの学校、年代なりに私自身にとって有意義であり、働き甲斐もあり、そして楽しく過ぎて頂きました。もちろん東淀川高校時代には、学園紛争の渦に巻き込まれて、学校外の人には理解されない苦労も経験しましたが、今にして思えば、この時代にも暗い面だけではない思い出深い一面もあります。苦労を共にしてきた人達との心の交りは、他の学校では体験できないものが残されているように思います。

東住吉高校の6年間に、苦勞したことが皆無であったとは言えませんが、今、思い返して楽しかったことばかりが残っております。ほんとうに平穩無事な6年間でありました。

30数年の府立高校の生活を通して、私は数年を除いて、バスケット・ボール部に関係してきました。三国丘高校時代に3回、大手前高校時代に1回、全国大会に出場しましたので、クラブ顧問としては、めぐまれましたが、私が東住吉高校にきたころには、既に私立高校が圧倒的に強くなっており、府立高校が大坂予選を勝ち抜くことは至難の業となっており、楽しむバスケット・ボールに徹しなければならない状況になっておりました。それでも、公式戦の一つでも多く勝つために部員は努力を重ねておりますし、OBの諸君も心から応援をしてくれましたので、今年こそ、今まで以上の成績を挙げてもらいたいと思います。私在职中の6年間では、ベスト16に残ったのが最高でしたが、今年のメンバーはその当時以上の力をもっておりますので、何とかベスト16の壁を破ってもらいたいと願っております。



創立 25 周年 を 祝 っ て

P T A 会 長 豊 田 静 彦

茲に本校創立25周年記念日を迎えるにあたりまして、先ず衷心より満腔の祝意を表する次第でございます。

創立当時に想いを致しますのに、19世紀もようやく後半に入り、外は朝鮮休戦、ソ連の対独終戦宣言等々、第二次大戦の余震、又は、それに依る断層の復調が著しく、内にありますは、今日の我が国の興隆の基礎となる経済的、外交的発展の兆候が着実に各方面に散見され始めた頃、当校は、社会ニードに相呼応し、大阪府民の切なる念願にそって産声をあげたのであります。

以来、校威は、いやが上にも発揚され、校風は初心にもとらず、たくましい自主創造の精神、をモットーとし、他の高等学校にその比を見出せない全く趣きを異にした、誠にユニークな高等学校として、日進月歩今日を迎えられたと聞いております。

誠に御同慶の極みに存じ、我々 P T A 一同

高い誇りを感じつつ、我が子の育成を楽しんでおります。

一口に25周年と申しまして、その間の先生方、P T A 先輩諸兄姉の御苦勞、御努力たるや、如何ばかりでしたでしょうか。

又、創立以来当校の環境たるや、甚しいドーナツ化現象の真只中で、力強く、社会の要請に応えつつ、質実剛健の校風に培われた生徒が、20有余度の卒業式の度毎に理想も高く巣立ち今や各々所を得て社会の中堅として活躍しているに違いありません。私も今回、各位の御推挙に依りまして浅学菲才をも省みず会長の席を汚す事になり、この25周年の年度に遭遇させていただき、全くもって役冥利につきる幸せを感じております。

我々はこの記念すべき年を踏み台として、明日から更に前進を続けたいと存じます。

終りに臨みまして、当校の益々の発展と、先生方、P T A 諸兄姉の御多幸を祈ります。



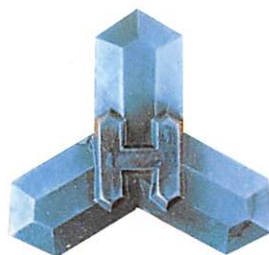
校旗について

本校創立三周年記念事業の一環として、P
T Aの好意が校旗を制定した。

地色は本校のシンボルとして定めたグリーン(希望)とし、中央には創立当初府の指導主事富田氏が工夫考案してくれた校章を染め出した。校章は人間教育の理想を象徴すると共に本校のはるか東方山上にまつられている信貴山の毘沙門天の紋に似せてある。即ち仏教の信仰による智慧の神の紋に通じている。勉学を通じて知性豊かな人間を養成したいとの創業の精神の一端を表わしたものである。

私共は本校に学ぶ若い人々が希望に燃えて勉学にいそしみ、知性豊かな人間として、すこやかに成長せられることを心から祈っている。

(この文章は初代校長堀江駒太郎先生のものである。)



校章の由来

校章は単なる記号ではなく、その形態と校風に共通な支配力がはたらき、簡潔さは現代的聡明さを表わし、しかもそこに独自性が必要だろう。そのような意味から一般に校名やその土地の由緒と関連づけられたものが多いが、さて本校の校章はどうだろう。一見して変化が少なく簡潔で中心に英文字Hの入った所はちょっとモダンな形をしているが、基礎になっているのが人間教育に邁進するという意味で“人”の形をなしている。人という字は単純な一本調子でなく、三つの大きな方向を持っている。その上細部ではそれぞれ違った面を持っているが、勿論それらが秩序ある結合を持たねばならない。これは一人の人間の場合もまた人間の社会としても同等である。この基盤の上にHを中心に乗せ統合が強められている。Hはヒト、ヒューマン、東住吉、本当の教育、ハイスクール等の頭文字から来ている。

奇縁というか、人を基盤としたこの形が毘沙門の紋所に似ている。仏法守護の神部に四天王という、いわば才腕兼備の実力大将がいる。毘沙門はその随一で別名を多聞とも言う。この博識と実践の威徳は殊に優れ四方に普く聞えわたる。特に東の守りを固めているこの毘沙門さまが守られているのが信貴山で、その開山みょうれんさんは宇治拾遺や絵巻物で卓抜な名僧知識振りを発揮して今日もあがめられている。わが校は間近にこの信貴山を仰ぎ見て、日夜この現世利益をなんらかの形で受け、また守ってもらうことが出来ればありがたいことである。

(この文章は本校校章考案者、大阪府教育委員会指導主事、富田民治氏のものである。)

東住吉高等学校校歌

野口深次郎 詞
野口深次郎 曲

調 4 (元品に (j=約) 12)

三、草わかれ みどりのついで
希望の庭に 幸あり青春
共学恒に讃う 自由の精神
香はわかれ友 薔薇は清純
東住吉高等学校

二、道なき 漆の堤
真理の窓に 榮あり平等
好学命に 伍う 不撓の精神
通えわかれ友 星は永遠
東住吉高等学校

一、風きよー 銀杏の木蔭
英知の門に 晴れたり金剛
独立風に 誇る 自主の精神
仰げわかれ友 峰の音雲
東住吉高等学校

安西冬樹 作詞
野口深次郎 作曲

「薔薇は清純」という麗辞が私の内部で結晶を遂げた刹那、わが東住吉高校校歌の姿勢がたちどころに決定いたしました。

5月20日のさわやかな朝のことで、去年のくれにはじめて私が学園を訪れて、親しく校風をまのあたりにしてから半年に近い光陰が流れたことは諸君のすでに御承知の通りで、校長先生はじめ、諸先生、又当日お目にかかって校歌についての希望や意見を交換した生徒会の代表の諸君はさぞかしこんどの校歌の完成を待ちわびていらしたこととお察しいたします。

しかし、一見空に費やされたと思われるこの時間は、五節三章より成るこんどの作品のモチーフとなった「薔薇は清純」の七音のク

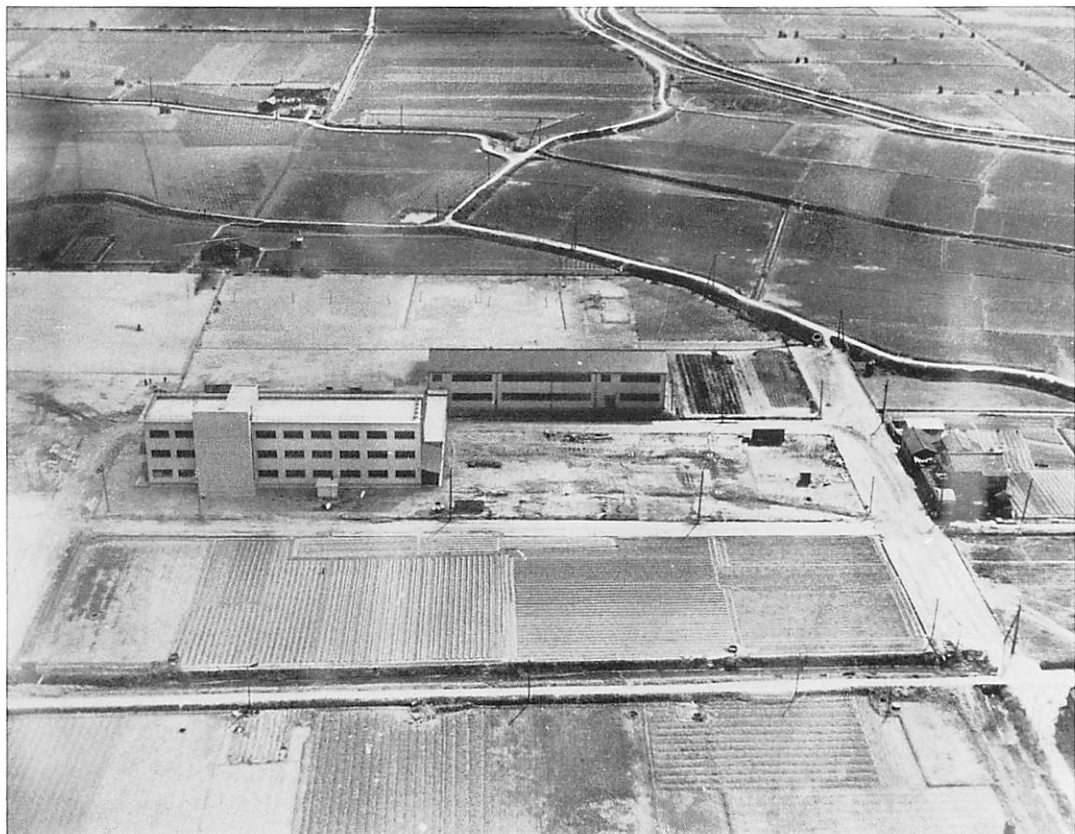
リストライゼーションのために傾けられたと申してよろしいでしょう。

それにしても、作者の自由になつぷりと時間を籍して下さり、その間私の疎懶を一言も責められなかった御関係者諸君の寛容な精神に対しては深く敬意と謝意を表する所以であります。

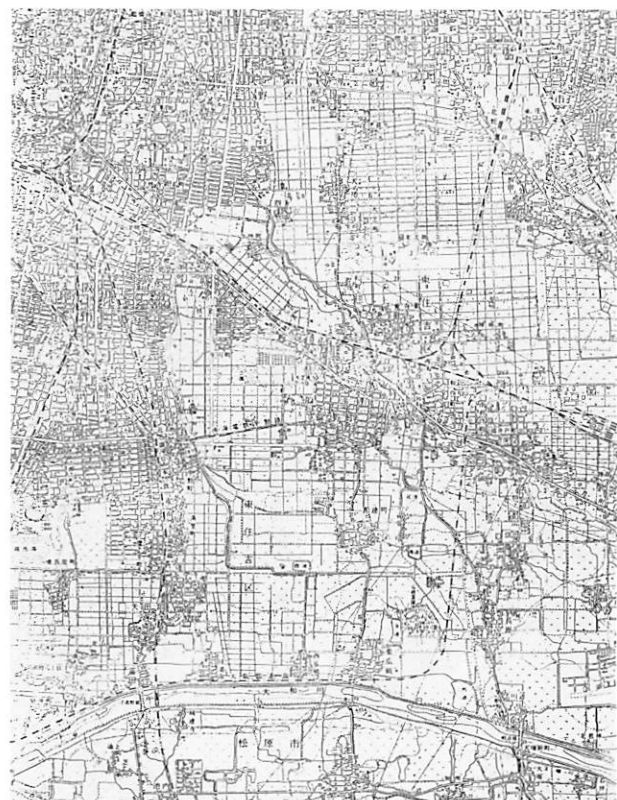
なお、この度の作品の特徴は、すべての章節を尽く体言止めにした点でこれは東住吉高校が、堅い精神基盤の上に立って高い理想の世界を志向する止みがたいすがたを具象したもので、諸君が勇氣と自信を以て、清く明るく力強くこの校歌を高唱することによって、校風を永遠に高昇して頂ければ作者によって望外の光栄であります。 (作者のことば)







航空写真「昭和32年頃の本校」



「昭和28年頃の2.5万分の1地形図」



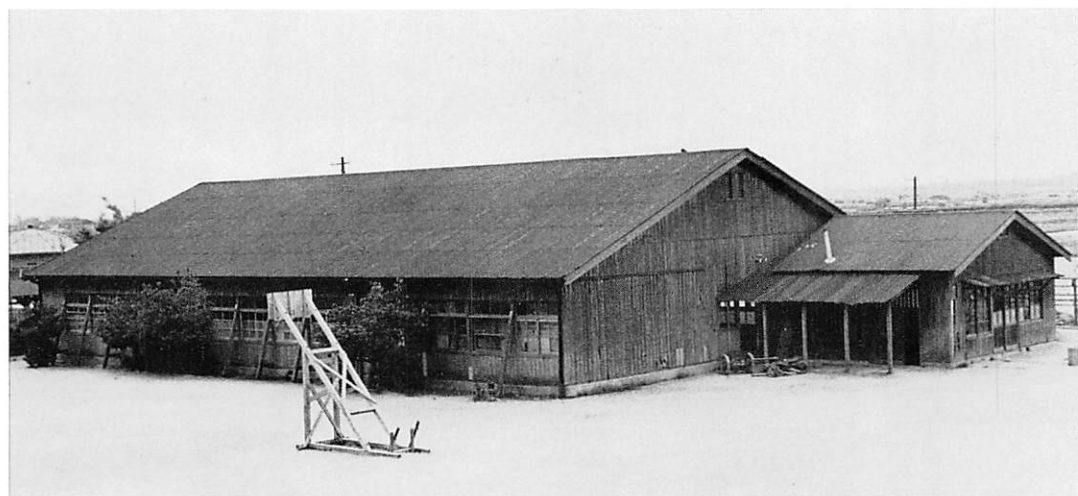
「建設前の敷地 整地がはじまる」



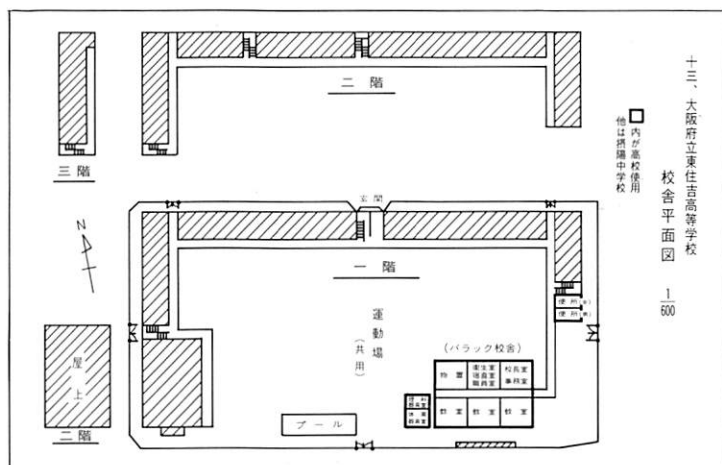
「初代校長による鋤入」



「整地なった校地で人文字」(右が西)



摂陽中学内の仮校舎



摂陽中学の平面図
(仮校舎は図中右下)



創立当時の職員

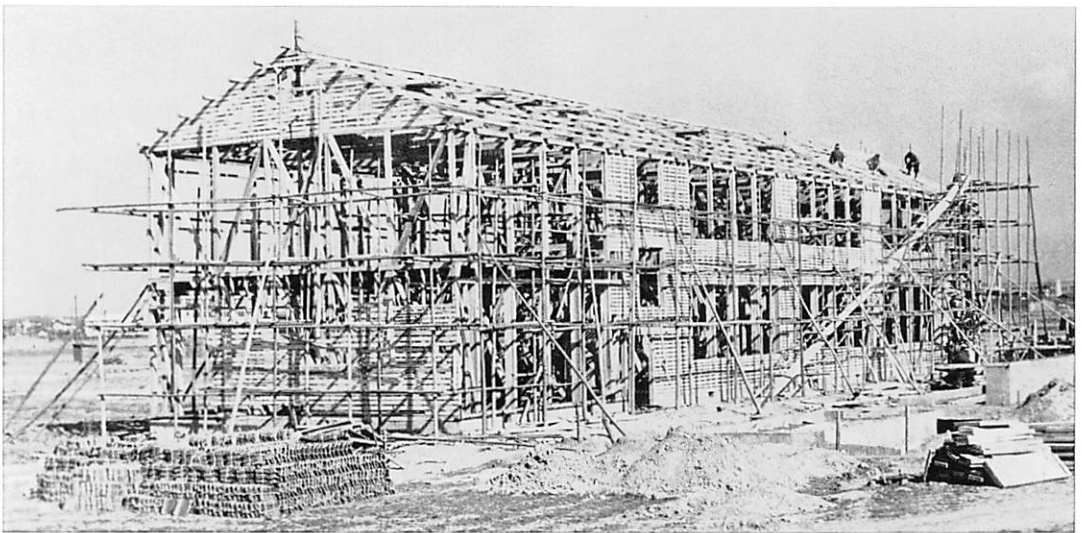


青空の下の入学式

新居貞男
 池田謙三
 石村健
 市川壽一
 尾崎晃平
 金城永沫
 小泉達男
 小松正美

1期生の宣誓書

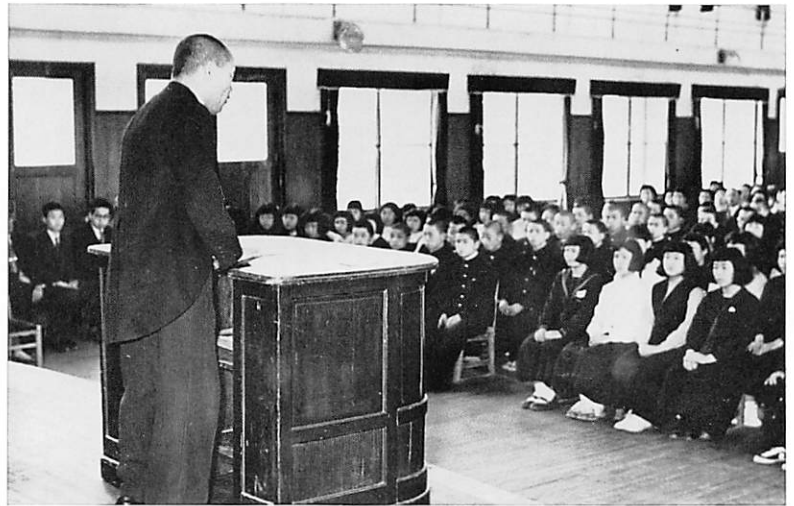
宣誓書
 本校在学中は高校生
 であるという自覚を
 持ち
 本校の教育方針に則り
 常にまじめな生徒であらうことを
 宣誓す



建設中の木造校舎



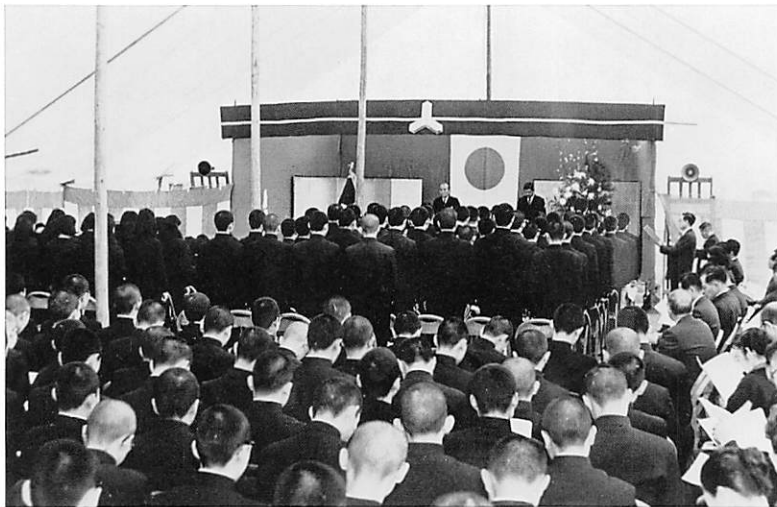
落成なった木造校舎(昭和31年)



摂陽中学での入学式



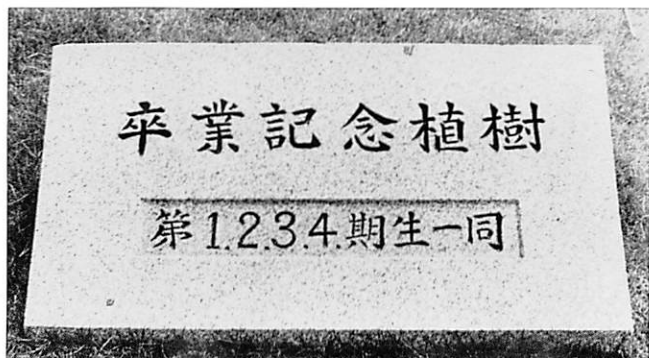
大テントの中で文化祭



大テントの中で卒業式



大テント下の卒業式(送辞)



大テント下の卒業式(答辞)



昭和32年秋・体育大会



体育大会入場式



体育大会風景



体育大会風景



体育大会風景



応援風景



伝統となった金剛登山



なんばプールでの水泳訓練



富士登山・六合目山小屋付近



霧ヶ峰教育キャンプ(蒸気機関車で)



三三保内オニワ九号 大府府三東住吉町等官校 校長 堀江駒太郎 昭和三十三年七月二十七日 借出日 昭和三十三年七月二十七日 借入日 昭和三十三年七月二十七日 借出場所 大府府教育委員会 保健体育課 大府府教育委員会 保健体育課 主任 乾正 係 大府府教育委員会 保健体育課長 乾正 借出内容 キャンプ用テント借用の件は次の条件で許可する。 昭和三十三年七月三日		相当金額を弁償すること。 以上
--	--	--------------------

キャンプ用テントの借用書



霧ヶ峰キャンプ(列車風景)

東住高第三十四号

昭和三十一年六月十五日

大阪府立東住吉高等学校長 堀江駒太郎

大阪府教育委員会教育長 浜田成政殿

集団宿泊訓練(学校キャンプ)について

標記について左記の通り実施いたしますので御届けいたします。

記

- 一、目的 集団宿泊訓練
- 二、場所 長野県諏訪市たでの海
- 三、期間 昭和三十一年七月二十一日より同七月二十五日まで
- 四、参加者の概要

(イ)生徒 第二学年全員(男七三名・女六八名)

(ロ)指導教官及び補助員 十五名

(ハ)責任者 学校長堀江駒太郎

(ニ)顧問 Y M C A 松田主事

五、実施内容の概要

第一日 午前七時三十分湊町発 午後五時四十分上諏訪着

午後六時三十分たでの海宿舎着

第二日 班別行動・松田主事指導及びキャンプファイヤー等

第三日 霧ヶ峰登山等

第四日 趣味の会その他

第五日 午前八時五十分上諏訪発(飯田線経由)午後八時三十分

上六着バスにて帰宅

六、尚詳細は別紙要項による。

中学訪問駅伝(スタート)





マラソン (駒川町6丁目付近)



マラソン (山坂町付近)



マラソン折返点 (播磨町交差点付近)



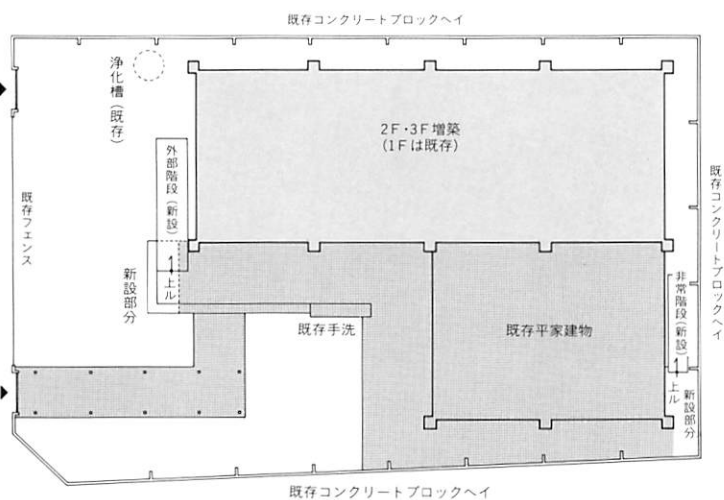
ゴールイン

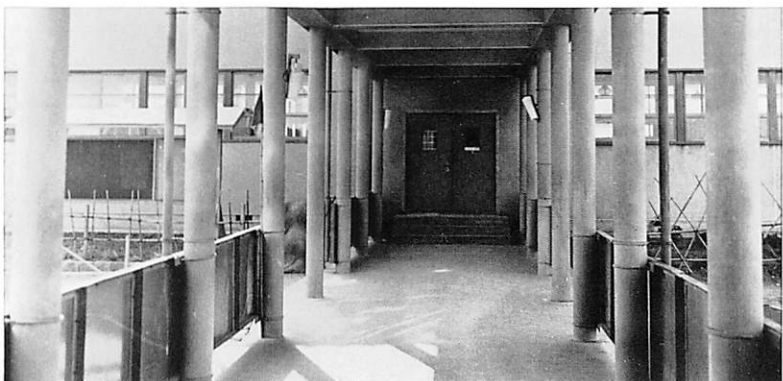


体育館の地鎮祭



緑友会館落成 昭和38年1月9日 (現食堂)





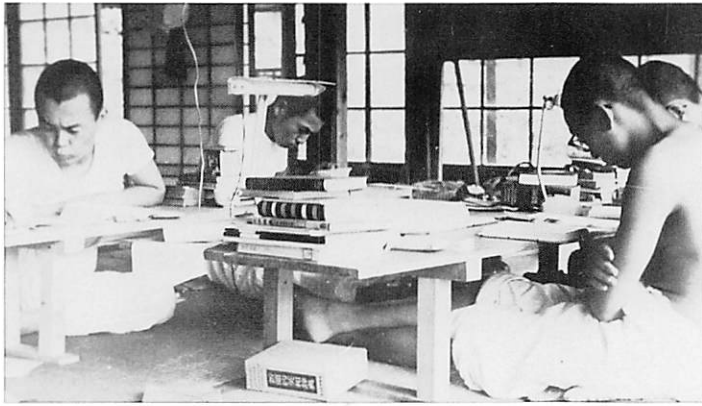
水はけわるくしばしば浸水する



昭和33年頃の本校



昭和35年頃の本校



当麻寺での合宿補習風景



当麻寺での合宿補習風景
(1日10時間学習した)

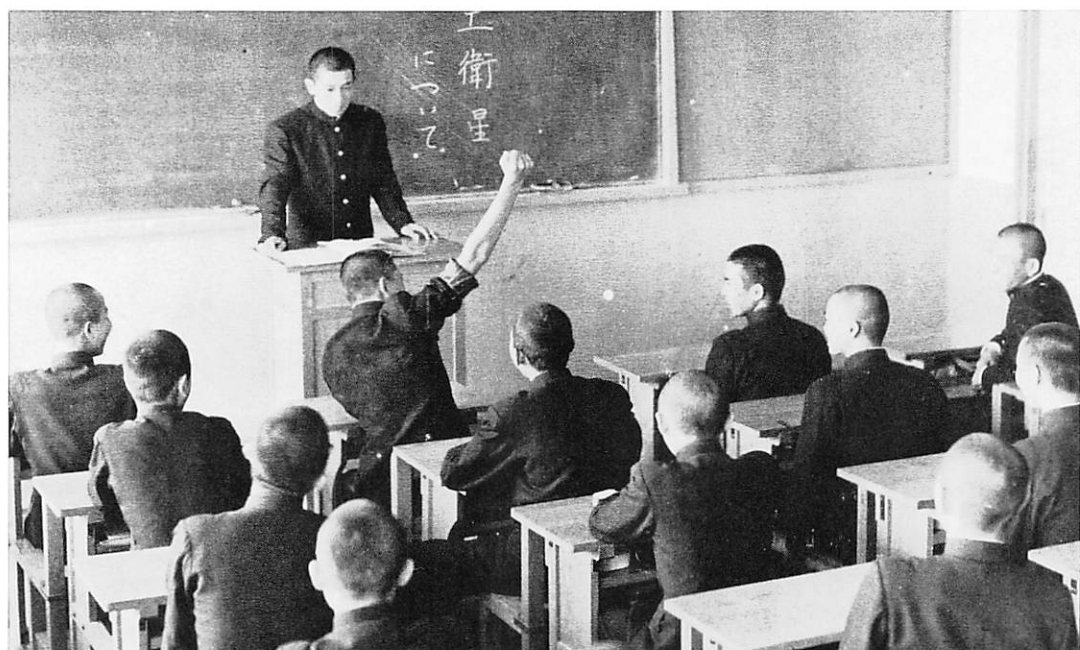




学校長との会食



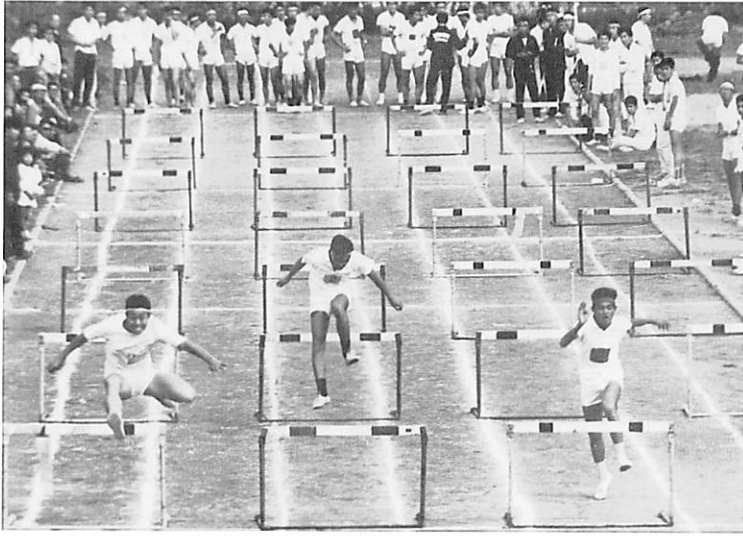
屋上での体育授業



H R風景



下校風景



体育祭風景(昭和40年)





卒業式(昭和45年)



文化祭に出場した職員コーラス(昭和41年-42年)



球技大会に出場した職員チーム(昭和40年-43年)

東住吉高校新聞

TEL 8815
TEL 8815
TEL 8815
TEL 8815
TEL 8815
TEL 8815

人間教師と生徒の断絶

教育界の中心に人間教師が求められており、彼らが生徒の心を捉へて教育を行ふべきである。...

33年度後期総選挙終る

本校の33年度後期総選挙は、24日午後8時に閉幕した。...

目的を達成する

副会長の言葉 副会長の言葉は、生徒の心を捉へて教育を行ふべきである。...

生徒会前期(前期)金中受三巻の話

生徒会前期の金中受三巻の話は、生徒の心を捉へて教育を行ふべきである。...

おこのお世帯...
是非一度御越し下さい

昭和33年12月24日(水曜日)

東住吉高校新聞

本校十周年をむかえて

本校・浸水で休

6月27日の大雨で本校が浸水した。市内の公立学校で浸水したのは本校だけだ。...

去りゆく2学期 学園祭と新執行部

2学期の学園祭と新執行部の選出が完了した。...

自主独立精神の養成

本校が今年で10周年を迎えました。本校も今年10周年を迎えました。本校も今年10周年を迎えました。...

各競技の成績

野球	1対0	2対1	3対0	4対2	5対3
サッカー	1対0	2対1	3対0	4対2	5対3
バスケット	1対0	2対1	3対0	4対2	5対3
バレー	1対0	2対1	3対0	4対2	5対3
卓球	1対0	2対1	3対0	4対2	5対3
水泳	1対0	2対1	3対0	4対2	5対3
テニス	1対0	2対1	3対0	4対2	5対3
柔道	1対0	2対1	3対0	4対2	5対3
剣道	1対0	2対1	3対0	4対2	5対3
相撲	1対0	2対1	3対0	4対2	5対3
その他	1対0	2対1	3対0	4対2	5対3

前期執行部を終
前期副会長 稲

東住吉高校新聞

区内中宇訪問 伝

毎週(休日は別)区内各中宇の訪問は、本校の特色である。12月24日(月)は、区内各中宇の訪問が行われ、本校の特色である。12月24日(月)は、区内各中宇の訪問が行われ、本校の特色である。

二の二堂々と優勝 (1時間32分55秒)

2位二の一→3位二の三



本校の特色である。12月24日(月)は、区内各中宇の訪問が行われ、本校の特色である。

区内各中宇の訪問は、本校の特色である。12月24日(月)は、区内各中宇の訪問が行われ、本校の特色である。

区内各中宇の訪問は、本校の特色である。12月24日(月)は、区内各中宇の訪問が行われ、本校の特色である。

区内各中宇の訪問は、本校の特色である。12月24日(月)は、区内各中宇の訪問が行われ、本校の特色である。

区内各中宇の訪問は、本校の特色である。12月24日(月)は、区内各中宇の訪問が行われ、本校の特色である。

区内各中宇の訪問は、本校の特色である。12月24日(月)は、区内各中宇の訪問が行われ、本校の特色である。

東住吉高校新聞
12月24日(月) 昭和31年12月24日

当務部台稿

本校の特色である。12月24日(月)は、区内各中宇の訪問が行われ、本校の特色である。

武田君(堂々)二位

全国高校陸上選手権大会

第10回全国高校陸上選手権大会は、去る12月20日(日)の両日、東京の両国競技場で開かれた。本校の武田君が、男子1500mで二位、女子1000mで二位の活躍を見せた。武田君は、大会で活躍し、本校の栄光を上げた。武田君は、大会で活躍し、本校の栄光を上げた。

東君が当選!!

東君が当選!! 東君が当選!! 東君が当選!! 東君が当選!! 東君が当選!!

期工事開始さる

本校の期工事開始さる。本校の期工事開始さる。本校の期工事開始さる。本校の期工事開始さる。本校の期工事開始さる。

多すぎる無関心 棄権と無効票

多すぎる無関心 棄権と無効票。多すぎる無関心 棄権と無効票。多すぎる無関心 棄権と無効票。多すぎる無関心 棄権と無効票。多すぎる無関心 棄権と無効票。

クラブ成績から

クラブ成績から。クラブ成績から。クラブ成績から。クラブ成績から。クラブ成績から。

対抗意欲に燃え

対抗意欲に燃え。対抗意欲に燃え。対抗意欲に燃え。対抗意欲に燃え。対抗意欲に燃え。

東住吉

東住吉。東住吉。東住吉。東住吉。東住吉。

低調な就職

低調な就職。低調な就職。低調な就職。低調な就職。低調な就職。

タナベスポーツ

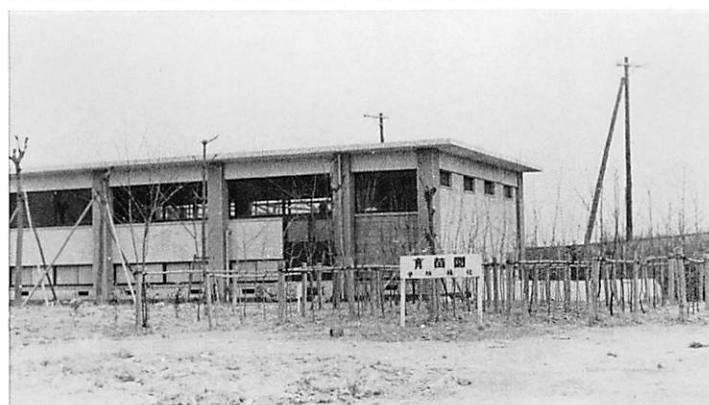
東住吉高校新聞

2回音楽発表会

低調な就職



理家棟竣工当時（59年）



音楽教室竣工当時（60年）



教材植物園



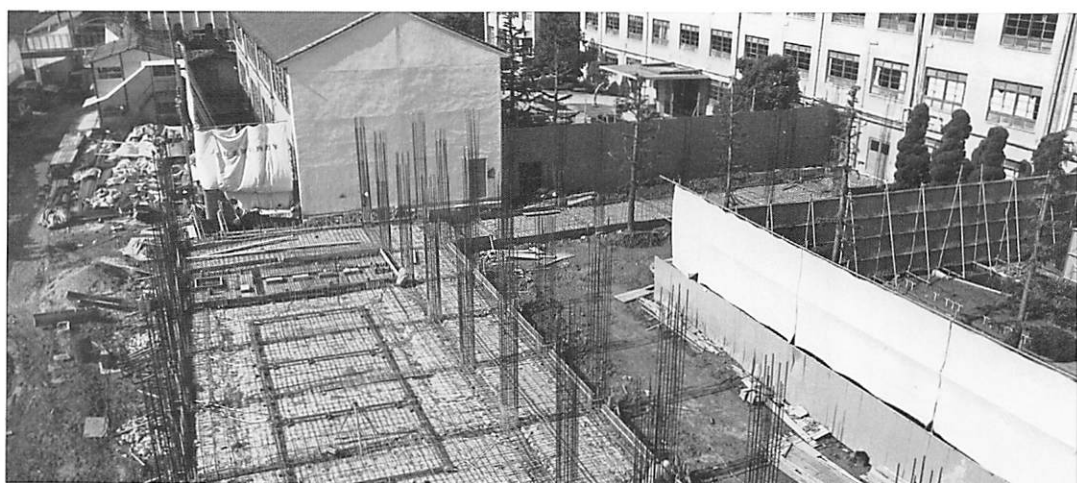
生物実験園



完成間近い南北棟と木造校舎(昭和53年)



木造校舎とバラ園(昭和53年)



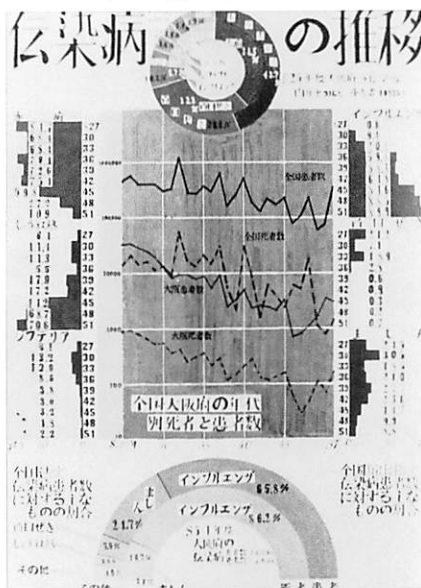
中央棟の工事始まる(昭和53年)



サッカー部 (昭和43年近畿大会出場)



映画研究部 (意欲的に映画制作にとりくむ)



数学研究部 (昭和53年統計コンクール優勝)



バドントワリング部



体育祭の準備



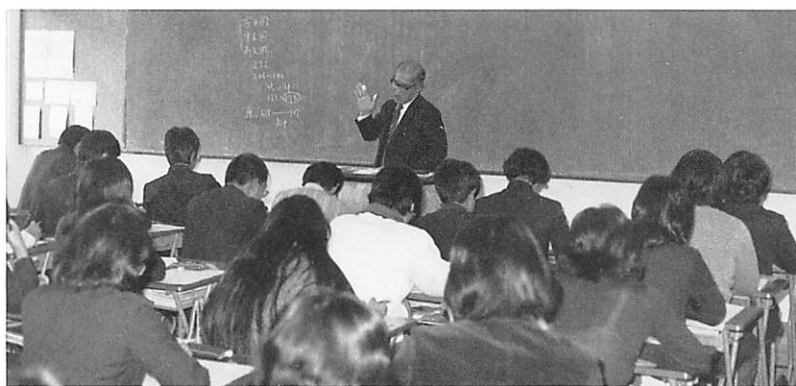
体育祭風景 (木倒し)



ファイアーストーム



体育祭入場式



授業風景



体育の授業風景



水はけの悪い運動場



図書館



校内食堂
(自動販売機もおかれて)



下校風景



下校風景

体育館での集会



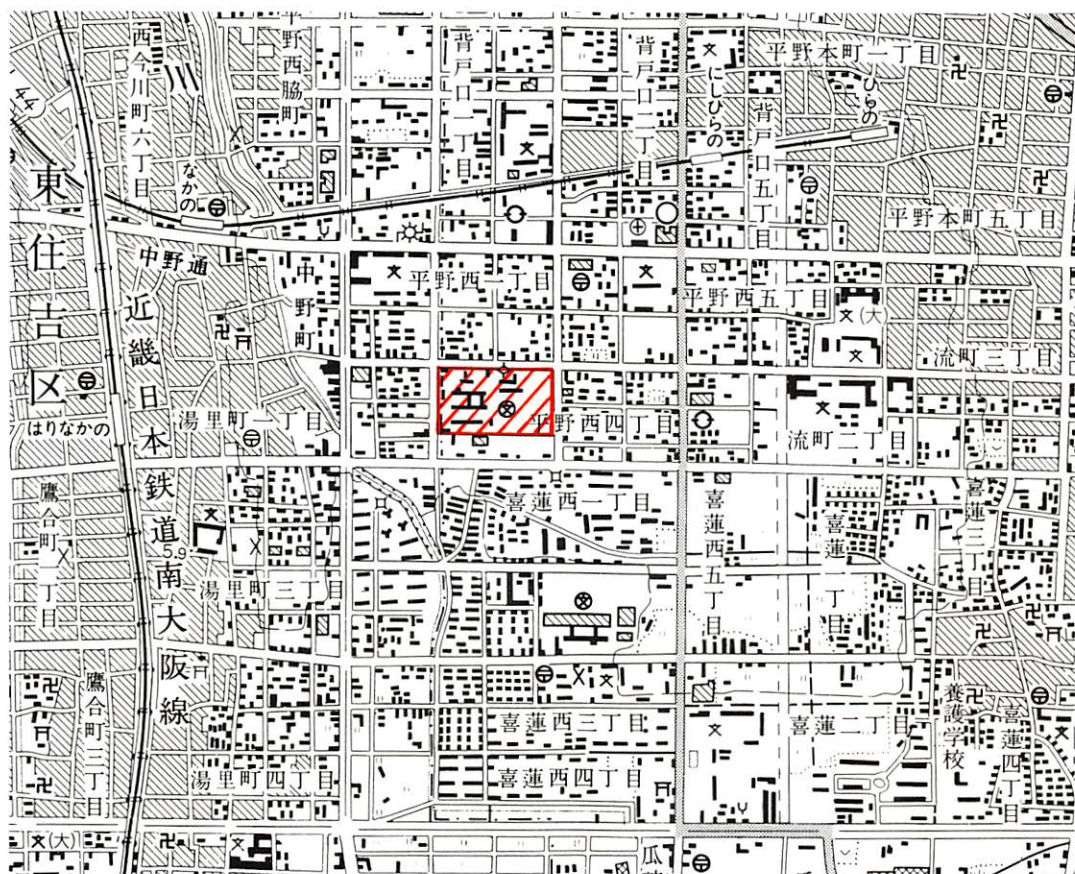
卒業式



卒業式



職 員



座談会 I (昭和30年代)



〈出席者〉

(敬称略)

堀江 駒太郎 (初代校長)

矢野 清 (二代教頭)

塚本 盛治 (旧職員・理科)

竹内 清 (旧職員・国語) (司会)

浅井 賢次 (第三代PTA会長)

園田 キヨ子 (二期生・旧姓山中)

西 埜 慶子 (三期生・旧姓樋口)

山上 哲郎 (五期生)

泉田 真知子 (七期生・旧姓水野)

菊池 通夫 (第五代校長)

保田 光男 (体育科教諭)

吉田 正博 (理科教諭・一期生)

菊池 本日は暑い中を御出席いただき、まことにありがとうございます。座談会は二部にわかれて居りまして、本日は、学校創設当時から昭和30年代のお話を聞かせていただきたいと存じます。

創設のいきさつ

竹内 まず学校を歴史的にひもといていただこうと思います。堀江先生は10周年記念誌号に創設当初のことを書いておられます。その中に昭和30年に本校の創設を命ぜられたとお書きになっておられます。東住吉高等学校をつくらうというのはまずどなたが

いいだされたのでしょうか。

堀江 浅井さんは創設に御尽力いただき、当時の模様をよく御存知です。

竹内 浅井さんには3期、5期のPTA会長を務めていただきました。

浅井 私が直接のPTA会員として、お世話になりましたのは、33年度の4期生入学以来、37年度まで、まる5年間です。その間、子供が二人お世話になりました。正会員としていろいろお世話しましたが、今いわれる開校以前の問題は、時間があれば最後に話す予定でしたが、指名がありましたので。

府立高校建設委員会が発足したというのを聞きましたのは、私の記憶では26年度の末であったと思います。私はたまたま27～31年度まで東住吉区内のP T A協議会（小学校、中学校）の会長でした。その時、区内の小、中学校の会員の中に東住吉区内に府立高校を誘致したらどうかという御熱心な方がおられ、建設委員会が発足しました。

この委員会は27年度に正式に動きだしました。当時、小学校11校、中学校5校で発足したと記憶しています。校地として良い場所を300坪ほど買収し、府に働きかけた方がてっとり早いと考え、第一回目に120何万円を区内の小、中学校から集めました。区内府会議員の寺田、吉村両氏が先頭にたたれ、東住吉に高校をと、奔走していただきました。さきだつものはお金です。終戦後のうまくいっていない時代でしたが、皆で資金ぐりして、28年度ごろ、故人の樋口氏は当時の市会議長であり、農業委員会の中心でもありました。その樋口氏の個人保障で農地委員会から、100万円、小、中学校のP T A会長の個人保障で、大阪信用組合から、150万円、両方で250万円の借金をしました。開校当時、東住吉P T A協議会がそれだけの借金を背負ったわけです。

樋口氏やP T A会長の個人保障をはじめ、建設委員会の多くの方々の御尽力で、校長先生をお迎えしたころには、敷地も目鼻がついておりました。以上のような苦勞の中で30年4月、開校に導いたわけです。

当時のP T A協議会の会長が一応表面にたち、別途に建設委員会をつくりました。しかしP T A会長は年々替わります。建設委員会では、会長は替わってはいけないので今も御健在の東氏に委員長を務めていただきました。

先ほどの250万円の借金の処理についてお話しします。私は31年、32年度のP T A協議会の会長でした。小、中学校の校長先

生は、私が古いため、いきさつもよく知っているだろうから、是非協議会の会長の任にある間に、借金を処理してくれとおっしゃいました。私もせっかく開校したものに傷をつけたくない、せめて建設委員会の借金は返済したいと考えていました。堀江校長先生からも私の任期後には借金を処理するものがでてこないだろうから、是非後始末をしてくれと依頼をうけました。こうした校長さん方の熱意で、それではなんとかということになりました。

協議会で250万の募金をすることはとうてい不可能です。そこで樋口先生の個人保障の100万は東住吉高P T Aで何とかして貰えないかと、初代会長の片岡さんにお願



いし、そのかわり150万は協議会が責任を持ちましょうということになりました。150万は小、中学校に配分し、銀行の150万と農協の100万を32年度に返済しました。

こういういきさつで樋口先生にいろいろ相談にのっていただき、当時のP T Aに、100万円も御負担をかけて申し訳なく思っていますが、そうしないとだれも処理することができませんでした。

地元の熱意

区内の一部の小、中学校の父兄も区内に東住吉高ができるというので、心よくとはいきませんでした。東住吉区に29年に合併しましたね、矢田、瓜破、加美は。ぼくらの知らん借金は関係ない。11校と5校でやれとのことでした。けれど今度増えて、小学校が18校になりました。7校増えました。中学が4校増えましたね。同じ協議会という名目でやれということになり、下部組織はP T Aですから、応分の割当てでし

ました。それから教育大学の附属ですか、私35年になってからいただきました。30～40万位ですが。そして学校のP T Aの方はその後、片付けていただいたと思いますが私の方もきれいさっぱりと片付けました。区内の皆様にご迷惑かけたかわかりません。

竹内 いまお話のように東住吉区民が区内に高校をという熱意で創設されたわけです。当時の貨幣価値は私もよく覚えていませんが。

矢野 堀江先生が来られた時、坪1,400円ぐらい、体育館の用地が3,400円ぐらいで運動場の用地はだいぶはね上がりまして、最高11,000円。それから北側を購入しようとしたら50,000円でとても手が出ない。

竹内 ぼくも創立の年の8月に勤めました。職員間の笑話に「この辺の土地を買っておいたら、絶対に上がる」といわれ、それがわかっていながら、手が出ずに終わってしまいました。

矢野 北側にどぶ川が流れていたでしょう。あそこまで土地を拡張したいと思っていたのです。

草創期

—— 仮校舎に初代校長を迎える ——

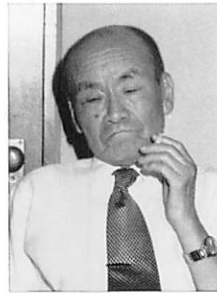
竹内 そのような御苦労があり、創立を迎えたのですが、最初は雨が降ったらものすごく音がする摂陽中学の仮校舎でした。あそこを使うことになったいきさつは。

堀江 ぼくはよく知らないが、おそらく建設委員会の人が臨時的に。樋口さんと館さんが交渉してくれたと思います。

竹内 堀江先生は3月に任命され、教員確保に御苦労なさったと思います。10周年記念誌には毎日寝るのは午前1時であった等々御苦労が載っていますが。

堀江 ぼくは佐野高校に行って3年目のな

で、転勤は絶対ないという確信があった。だから他の人が行くであろう。まさかぼくが行くとは毛頭考えていない。府から突然来いといわれて。その当時、佐野の拡充計画で奔走していました。それで浜田教育長



にだいぶ抵抗したのですが、とにかく東住吉はあなたに任すからということで、「本当に任せられるんですね」と約束した。これが後でだいぶ押し問答する原因をつくったのですが。

土地買収に関しても、第一回目、二回目は承諾してくれたが、三回目のとき駄目といわれた。そこでP T Aも納得している。その上に任すと言ったのだから、その通りにして貰わなければとつめよって承諾をとった。

教員の確保

竹内 先生集めの方はどうでした。

堀江 急なことであったので、自動車を取り回した。4月の3日になっても先生が7、8人だったかな。浜田教育長に「入学式を少し遅らせる。その代り夏休みと冬休みを返上して授業をするから」「それならやむを得ない」と返事があった。実際にはまがりなりにも遅れることなく、授業ができました。入学試験はぼく一人で行ないました。

竹内 ということは学校ができるということがはっきりしたのはだいぶあとですか。

矢野 前の学校で教務主任をしていました。昭和30年でした。府で調整入学とか、選抜要項とか説明会がされました。そのとき、2月段階でしたかね。「大阪府には北の方と南の方に新設の高校が一枚ずつできる予定がある」と聞いた。そのときぼくは、ひとごのような気がしていた。後でぼくがそ

の一つに行くようになった運命をつくづく感じました。

竹内 中学側もだいぶ戸惑ったのではないのですか。

矢野 ぼくが中学側の進学指導委員長と話したとき、ほかへ決まっているものでも、ずらして東住吉へ持っていきましょうと言ってくれた。

東住吉高校一期生

竹内 一期生の吉田君はなぜ東住吉へ。

吉田 ぼくの学力と、それにとても近くに来たので便利だということで入学しました。

堀江 生徒の中には始業時刻一時間前に学校に来ている者もいましたね。

保田 その子はぼくのクラスでした。とにかくほとんど皆私立に受かっていましたが、すすめられてうちへ来た。来てみたら校舎もない。学校へ行く途中、友達に会って、「どこへ行っているんや」と言われたら、校舎のない学校へ行くのが、恥かしくてしかたがない。友達に会わないように早くでる。一時間前から、教室で坐っている。女の子です。特に女の子は肩身が狭かったらしい。私立へ行っておけばよかったと後悔しながら通った子もありました。

学校づくり

堀江 保田さんからこの話を聞いて、これはいかんということで、機会ある毎に万歳やらしてみたり、いろいろなことをして、他の学校のしていないことをやりました。それに校舎を早く設立してもらうために、府教委へ陳情書を提出したりしました。

竹内 そういうことで他校にはないことをやらねばということで、たくましさとかいろいろありますね。きょうはたまたま甲子園の決勝戦ですが、本校に野球部を設けないというのは、堀江先生とか当時の先生の

お考えと思いますがその辺の主旨は。

野球部のないわけ

堀江 全生徒の体力を増強させることで、始めました。ぼく自身は野球は好きなのですが、野球が強くなって運動場をとり上げては困る。いちばん最初に野球部をつくってくれといったのは、生徒会長の川本君だったが、ぼくはそのとき川本君に言ったのは、三つの条件がある。一つ目はオリンピックで認められていない。二つ目にPTAで野球部専用のグラウンドをつくること。三つ目にぼくを首にすること、この三つがそろわないとやらんといった。毎年生徒会から要望があったが、まだ今でもないのですか。

竹内 あのころあったクラブは文化部は別として、女子バレーと男子陸上の二つだけです。それから運動クラブも成績が一定平均値以上ないと入部できないと職員会で決議しましたね。

堀江 国体選手もでたが、野球部があったらでない。足の速いのは野球にとられますからね。

教育キャンプ

竹内 他の学校では修学旅行に行っているわけですが、そういうものを止めて、教育キャンプを設定された精神は。

堀江 時の教育長浜田さんが「堀江君、いっぺん修学旅行を検討して下さい」ということで、別にキャンプとは言わなかった。だいぶいろいろ考えましたね。

矢野 アンケートをしましてね。小、中学校の修学旅行はどこへ行っているか調査した。東京辺りは中学段階で行っておるわけです。同じ所へ行っても仕方がないというのも一つの理由です。

堀江 一年の時は延命寺に行った。その後富士五湖周辺を下見に行き、最後に霧ヶ峰

にいき、小野教頭の知人がおられ、霧ヶ峰に決まった。小野教頭が生きておられたらもう少し詳しいことがわかる。ぼくは最初から霧ヶ峰ときめていたわけではない。



竹内 場所は霧ヶ峰周辺で、蓼の海、沢渡り、県営キャンプ場など少し変わっていますが、精神的には引きつがれているわけです。けれども初期の生徒の受けた印

象と最近の生徒では違っているように思われます。一期、二期のあたりは、バスで霧ヶ峰にのぼってくると、一面のニッコウキスゲをみて、「ウー」と歓声をあげたのですが、時代の流れもありますがこの頃の生徒は先生が、あれはニッコウキスゲだと説明しても、「あ、そう」という感じです。今振り返ってみてどうですか。一期の吉田さん。

キャンプの思い出

吉田 昔の私達はそのような山などに行ったことなどありませんでしたので、やはり感動しましたね。湿原で現地の星稜高校の牛山先生の説明とか、またYMCAの松田先生がキャンプの指導に来られ、一日早く帰られたとき、涙を流して別れを惜しみました。それから少し足の悪かった級友も馬に乗り、あの美しい高原をハイキングしたことなど今でもなつかしく思い出されます。それと少し話は戻りますが、一年生の延命寺の合宿では、夜中に枕投げをして堀江先生に男子全員が静座させられて、身動きもできず、手足にとまり血を吸っている蚊をたたくにもたたけなかったことを覚えています。

堀江 あの最初の霧ヶ峰のとき、切符は国鉄の方は買ってあったが、近鉄は買ってな

かった。肥田先生が強引に乗せて、あとから切符を購入した。それと第一回は西内先生に綿密なカロリー計算をした料理献立をつくってもらい、それを塚本先生一人で注文したが、あまり手がかり過ぎて、これはいかんということで、翌年はかん詰め切りかえた。今度は生徒の方から、かん詰めばかりでおいしくないという苦情がでた。三回目ぐらいから、ようやく軌道にのったという感じだった。

竹内 園田さんはどうですか。二回目に行って。

堀江 あのとき、かん詰めばかり食べたね。

ビックリ仰天

園田 そうでした。それから校長先生はこわいという印象しかなく、何かそばへ来ると怒られる感じがして。キャンプファイヤーで校長先生が「大きい頭をむんずとつかみ」と踊っていただいたのです。それをたまたまうちの班の者が宿舎のトイレの前で、校長先生のされたのをまねたり、さんざん校長先生のことを言っていたらしいです。そうしたらトイレに入っている人が、なかなか出て来ないのです。トントンやりながら、面白かったなあと言いつつあつたのです。すると中から「もう出ていいか。」それが校長先生でした。(笑い)何も言わずに真青な顔して、3人ぐらいうちのグループの子が戻ってきて「どないしよう。いまから校長先生がここへ怒りにくる。」「どないしよう。」「担任に相談にも行けないし」といって、その晩寝なかったのです。それもその前の長髪問題のときでした。週に一回会食がありましたね。その席で校則に従わないものは親に退学届けの印をついてもらいすぐに持ってこいと言われ、怒られたことが頭にあるので、さんざん先生のことを言ったのだから、明日は怒られるだろう、どうしよう。といいつつ朝食をとっていたのです。

そうしたら校長先生がやって来られて「お早よう、昨日のことは聞いていなかったぞ」と言われて。そしたらその友達は何のすごく喜んで、いま同窓会しましてもその話ばかりでるのです。それから校長先生はこわいだけではないので、話しに行こうかなという気持ちになりました。校長室の前を通っても「お早ようございます」と言っていていたらのぞけるような親しみがおこり……。キャンプファイアーの思い出が、いまだに20年近くたっても、校長先生のお顔とだぶって一生残ります。もちろんまねした人などは子供にも思い出として、ひきついでいける……。

竹内 西塾さんはどうですか。三期生はまだ夢の海でしたね。



西塾 三期生は一、二期生に比べていちばん幸せじゃなかったのかなあと思います。何につけてもキャンプがいちばんの思い出ですね。ファイアー、ニコウキ

スゲなどはじめて見るものばかりですのでやはり感激しました。

竹内 卒業生でも卒業してから、懐しくて霧ヶ峰に行くものがあるらしいですけども、泉田さんいかがですか。

泉田 キャンプは本当に一生忘れられない思い出です。あの時のニコウキスゲは特別で、今でもその名を聞くだけで、特別な気持ちになります。

竹内 七期生と現在とはだいぶ違いますね。その辺の感じ方とか。交通機関はどうでした。

泉田 近鉄で行き、強清水から歩きました。

保田 たしか五期生から、バスでは。

竹内 だから夜中にでて、朝着いたのですね。一、二期生の時は夜明けに2、3分の

乗りかえ時間で、ふるえながら汽車にとびのりました。はじめは先生総動員でついていったけれど、規模が大きくなって、とても大変で、卒業生が各団に一人ずつつきそうカウンセラーができましたね。あれは六期生ぐらいから、始まったのかなあ。西塾さん、どうでした。

西塾 私も卒業してから、カウンセラーでよせていただきました。楽しかったんです。

竹内 山上君のあたりはどう。

山上 私は行っていませんので。

矢野 私たちのとき、地元諏訪市の観光課に協力していただきましたね。

竹内 そうでしたね。

矢野 みそとか、砂糖とか炊事物資の調達までお願いしてね。

竹内 今では県の内外からキャンプに来ますが、本校ではずっとお世話になっていきます。人数が多くなり何年か前に他に良い場所をとということで、キャンプ委員会ができましたね。ぼくらあちこち探しに行ったのですけれど、霧ヶ峰より良いところは見つかりませんでした。



堀江 あの時分とようすはだいぶ変わっているでしょう。

竹内 ずいぶん変わっています。ビーナスラインなどでできまして、環境は悪くなっていますね。

堀江 ああいう形でキャンプが行えたのは先生方が非常に若く、30代の方が大部分だったことと、初代の会長片岡さんに頼んで思いきってPTAの会費を集めたことでしょう。あの当時PTA会費は府下最高であった。それでキャンプ用品をどんどん購入した。浜田教育長に「あんた、むちゃするなよ」とだいぶ言われたが、「あんたに任せ」と言ったのじゃないか、任された以上思う

ようにする……………。

矢野 その時は修学旅行は3年生ときまっていた。そこで修学旅行ではないとして、2年生で行きました。特別扱いでした。

学力向上をめざし

100分授業・ドイツ語

竹内 初期の頃に戻りますが、他の高校にない非常に長い授業時間等について。

堀江 あれは小野教頭が考えた。

竹内 英、数、国が長くて100分授業。それはどのような考えで。矢野先生、これは一期生だけだったのですね。

矢野 そうです。その翌年はやろうにもやれなかったのです。

竹内 まず一期生で実施された事情は。

矢野 学力を何とかつけてやろうということから生まれた一つの方法でしたね。

堀江 それとドイツ語をやったのは、特色ある学校をつくらうというあせりでもあった。

竹内 単なる推測かも知れませんが、天王寺、生野、勝山、東住吉4校で1学区になっており、何とか良い生徒を集めようという意欲が、教師側にあったと思うのです。

矢野 この学区では4校あり、本校が新設校なので何とか引き上げにやいかんが、よそがやっている補習とか何とかではいかん。よそがやっていないことを、やらなくてはという発想がありました。

当麻寺合宿

竹内 それで100分のような長い授業とか、ドイツ語とか、当麻寺合宿がでてくるわけですね。

堀江 当麻寺の合宿はね、ぼくの発想では英、数2科目に関しては、3ヶ年に4ヶ年分の授業をする。ようするに当麻寺で10日間やれば、卒業するまでに30日間ある。毎日5時間とすると150時間。そうすれば何

とか追いつくであろう。

竹内 たしか1日10時間の勉強でしたね。

矢野 31年度から実施したのではないが。

保田 そうですね。当麻寺の他にも、叡福寺、中山寺もありました。



矢野 中山寺は特殊で3期生の場合、吉田先生などの学年でたまたま勤評問題で生徒に思うようなことをしてやっていないので、この学年に関しては冬休みにや

るということで、正月にやっておるのです。それは寒い時でね。

保田 叡福寺に行ったのは何年ですか。

竹内 あれは2期の私の学年ですが。ようするに当麻寺で人数が収容しきれなくて二つに分けました。

堀江 当麻寺は片岡さんの紹介。お坊さんと片岡さんが懇意で、それで当麻寺に。

中学訪問駅伝

竹内 それからほかに、東住吉区内に本校を良く知っていただくという主旨から、中学訪問駅伝というのがありました。保田先生、そのあたりのことを。何回ぐらいでしたか。

保田 3回ぐらいだと思のですが。

竹内 東住吉区の全中学を回りましたか。

保田 回りました。全コース25,700メートルありました。

竹内 どういう発想からでてきましたか。

保田 学校長の方針で、全生徒を歩かせせかせて、2キロメートル以内は無条件に歩いて通学せよという規則があり、また機会あるごとに、毎朝全校生徒が走ったり、体操したり。それで全部の生徒が走れる能力があることと、もう一つは学校の存在を訴えることが主旨でした。うちの生徒に自信